飛　形

八女市立筑南中学校
学校だより４月号
令和８年４月１６日発行
文責：校長　髙野　直幸

筑南中の素晴らしい桜並木に包まれ
新年度がスタートしました。

１　新年度の校内体制

（１）転入・転出者

＊ホームページでは、個人情報は伏せています。

転出者				転入者		
氏　名	教科等	在職	転出先等	氏　名	教科等	前任校等
	校長	４年		校長		
		４年		非常勤講師		
		１年				

（２）学級・学年組織

学年・学級	男子	女子	計	学級担任	学年所属	市職員
２年１組	１０ （２）	８	１８ （２）			（特別支援教育支援員）
３年１組	６ （１）	４	１０ （１）			（少人数指導）
学習室Ａ	１	０	１			（学校司書）
学習室Ｂ	２	０	２			（栄養士）
合計	１６ （３）	１２	２８ （３）			（学校補助員）

※（　）は学習室の生徒で内数

２　記憶に残る特別な１年に～始業式に寄せて～

４月７日に始業式を行いました。本年度、本校は 76 年の歴史に幕を閉じます。本年度入学式はありませんでしたが、２・３年生全員が学校のすべてを知り尽くした「主役」として、この特別な１年をスタートしました。

始業式では、最後の在校生として「“なりたい自分”を描き、主体的に動くこと」、そして「仲間と学びあい、高めあうこと」の２点を話しました。閉校を「終わり」ではなく、最高の形で次のステップへ繋ぐ「歴史の完結」と捉え、少人数だからこそ磨ける自信を糧に、輝く未来へのフィナーレを自分たちの手で書き込んでいくことを期待しています。

そこで、今年度、本校が力を入れていくこと（重点目標）を以下のとおり設定しました。

最後の筑南中学生としての誇りを持ち、学びあい高めあう」生徒の育成
～（５年後・１０年後の）“なりたい自分”を目指して～

筑南中学校を選んでくれた子どもたちへ、記憶に残る特別な１年にできるよう教職員一同、全力で支援していきます。

３　10 年後のふるさとを、心の支えに。～筑南中が未来へ撒く『種』～

本校は１年後の閉校と南中学校との統合を見据え、「地元を知り、誇りを持つ」ことを柱とした学習を展開しています。生徒が 10 年後もふるさとを心の支えにし、「ここで生きていきたい」と思える種を心に植えることがねらいであり、昨年度から取り組んでいます。

今年度は「持続可能な地域」を模索し、閉校式での成果発表や地域おこしの提案を目指し

ます。地域と歩みよりながら、確かな学力と郷土愛を育みます。
今回は２つの取り組みを紹介します。

（１）自分たちの地域を再発見

４月８日に「夢たちばなビレッジ」での体験活動を行いました。「地域の魅力を知り、誇りを持つ」ことを目指し、生徒たちはピザ作りや施設散策に挑戦。自分たちの手でトッピングしたピザを味わいながら、地域の豊かな資源を肌で感じました。

今後はこの体験を基に「ビレッジでの有意義な過ごし方」を考え、閉校式に向けた地域おこしの企画へとつなげます。生徒一人ひとりが心に植えた「郷土愛の種」を、地域の方々の助言を糧に大きく育てていきます。

【ピザの生地を伸ばす様子】

【ビレッジ内を散策する様子】

【自分が作ったピザに喜びの笑顔】

（２）未来へつなぐ桜の苗木～小中合同で植樹～

４月13日に筑南小の６年生とともに「男ノ子焼の里」で桜の植樹を行いました。この活動は、地域の方々や小学生との交流を通じ、校区の一員としての自覚を深めることが目的です。当日は雨が心配されましたが、天気も私たちに味方してくれました。

子どもたちは小学生とグループになり、地域スタッフの指導を受けながら丁寧に穴を掘り、自分の名前を書いたプレートを苗木に添えました。活動後の振り返りには「数年後、桜の花を見るのが楽しみです。」とありました。統合後も中学生と小学生、そして地域を結ぶ「絆の象徴」となります。自分たちが植えた桜とともに、郷土を愛する心も大きく育っていくことを願っています。

【植樹場所まで移動する様子】

【植樹方法の説明を聞く様子】

【桜を植樹する様子】

今後の主な学校行事（予定）

４月１５日(水)図書館オリエンテーション
１７日(金)避難訓練、救命救急教室
１８日(土)授業参観、PTA総会、学年保護者会
２０日(月)振替休日
２１日(火)歯科検診
２２日(水)全国学力調査(英・質問紙)、眼科検診
２３日(木)全国学力調査(国・数)
２４日(金)臨時生徒総会
４月２９日(水)昭和の日
３０日(木)全国学力調査(英・読むこと)、内科検診、生徒集会
５月　３日(日)憲法記念日
４日(月)みどりの日
５日(火)こどもの日
６日(水)振替休日
８日(金)安全・防犯教室
１２日(火)～１５日(金)家庭訪問

※予定は変更することがあります。